

教職員の皆様へ

～学校及び家庭における感染防止対策に係る指導の一層の徹底について～

現在、感染力が強いと言われている変異株(デルタ株)の感染者数が増加し、児童生徒の感染も増えています。学校生活において「クラスターゼロ」に向けて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するために次のことを徹底してください。

1 家庭での対策

- 別紙2の内容について、安心メール及び学校 HP を活用するなどして、児童生徒等、保護者へ確実に周知する。学校においても、発達段階に応じて各学年やクラスで必ず説明をする。

2 学校生活での対策

- 朝のSHR(朝の会)、終礼時及び部活動開始時等、1日複数回、児童生徒等の健康観察により体調把握を行う。(健康観察表などの活用を含む)
- 昼食時及び全ての飲食の場面においては、飛沫を飛ばさないような席の配置や黙食等について指導する。
- 休み時間の児童生徒等同士の接触やトイレ、売店等での密集をできる限り避けるよう指導する。
- 学校で体調不良となった児童生徒等が、我慢せずすぐ知らせることができるよう指導するとともに、児童生徒等が申し出やすい環境づくりを行う。
- 校内では、休み時間を含め必ずマスクを着用するよう指導する。
- 授業中も、休み時間も、常に換気を行う。
- こまめに石けんで手洗いをし、必要時にはアルコール消毒を行う。
- 各教科等において、感染症対策を講じてもお感染のリスクが高い学習活動(衛生管理マニュアルP54参照)は行わない。

3 部活動での対策

＜対外活動の制限等＞

- 練習試合等(他校との交流活動や観客を集めて行う演奏会等を含む。)及び合宿は禁止する。
- 大会は、公式大会に限り参加可とする。

＜感染リスクの高い活動等の制限等＞

- 可能な限り感染及びその拡大のリスクを低減させながら、なるべく個人での活動とし、少人数で実施する場合は十分な距離を空けて活動させる。
- 密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い活動、向かい合って発声したりする活動は行わないよう指導する。
- 密集を避けるため活動時間などを工夫するとともに、活動中は大きな声での会話や応援等は行わないよう指導する。
- 用具等については、不必要に使いまわしをしないとともに、こまめに消毒するよう指導する。
- 大会等の参加に当たっては、大会中はもとより、会場への移動時や会食・宿泊時、会場での更衣室や会議室等の利用時などにおいても、時間差利用や身体的距離の確保を行うとともに、大きな声での会話を控えさせる。

＜部活動に付随する場面での対策の徹底＞

- 部活動終了後に、車座になって飲み物を飲みながら会話したり、食事を行ったりした際に感染が広がることを防ぐため、部活動前後での集団での飲食は控えるとともに、人との接触を避ける観点から、部活動終了後はすみやかな帰宅を促す。
- 部室、更衣室、ロッカールーム等の共用エリアを使用する場合には、短時間の利用とし、一斉に利用することは避け、時間差利用や身体的距離の確保を行うとともに、大きな声での会話を控えさせる。